

## 佐藤平道



ナノプロセッシング施設 (NPF)において電子線リソグラフィや走査電子顕微鏡観察、EDX分析などをする支援スタッフです。

民間企業で約20年間、研究開発と設計部門の仕事に携わり、2002年10月にNPFに着任しました。電子線描画装置や走査電子顕微鏡と付随する装置を担当し、これらを用いた技術支援を行っています。

学生時代のレーザー計測の研究から始まり、企業では赤外線加熱装置、単結晶育成、非線形光学結晶と応用装置、光通信部品などの研究・開発を行いました。その過程で関わった仕事から電子顕微鏡や微細加工へと導かれました。

種々の技術支援と共に人材育成も主たる業務の一つです。右の写真はサマーサイエンスキャンプ2006で観察した蜘蛛の巣の粘球（粘つきの原因）です。巣をSi基板に貼り付け、液体窒素で凍結乾燥させて漸くSEM観察できました。この様に難しい課題にも様々な工夫で解決する、地味ですがとても面白い仕事です。

